

## 持続的な森林保全に向けて <その6>

### 最終回：シリーズのまとめとして

本シリーズでは、国際耕種が関わってきた森林保全の取り組みを紹介し、特に以下の三つの問いを通じて森林保全を導入・活性化し、持続させていくための要件を探ってみた。

- 1) 住民の参加・関心にどう働きかけるか？
- 2) 森林保全の能力をどう強化するか？
- 3) 活動の持続性をどう確保するか？

各取り組みについて、問いに関連する活動や課題を下表にまとめた。住民の参加・関心においては、地域資源を活かした生計向上が共通して挙げられ、林産物・果樹の加工やコーヒー認証といった「付加価値化」が鍵となる。また、子供や婦人も巻き込んだ植林や研修を行うことで、幅広い層への啓蒙活動や能力強化にもつなげることが期待できる。森林管理に求められる能力としては、森林官を対象とした知識・スキルに加えて、「森林地域で生計を営む住民の能力強化」が持続性に不可欠となる。これは適正技術や研修に限らず、住民が協力して森林保全や農村開発といった多様な課題に取り組めるような「組織力」や「情報交換・ネットワーク」などの幅広い内容が含まれ、これらを整備・強化するには相当の時間を要するだろう。

「持続性の確保」に盛り込まれた内容は、上記の「住民の参加・関心」や「能力強化」に向けた様々な取り組みを、プロジェクト終了後も継続していくための工夫・枠組みとして集約できるだろう。本シリーズの最初でも触れたが、REDD+はこれらの取り組みを継続する「資金」を提供することに意義があると言える。マリでの取り組みのような30年もの活動継続には、お金だけでなく、強い信頼関係や想いで結ばれた人々による協力がなければ、到底できることではない。また、幾ら資金があったとしても、適切に活用できる体制や能力、仕組みがなければ効果は限られてしまう。現場での手間・時間をかけたプロセスを通じて、関係者が力を合わせて生計向上や森林保全に取り組む「協働」を目指して、今後も国際耕種ならではの活動を追求していきたい。



神様として大切にしてきた森と滝で憩う人々@カリマンタン・サハン村

対象国	スキーム	活動の提案・実施内容・課題		
		住民の参加・関心	能力強化	持続性の確保
マラウイ ブルキナファソ	事前調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生計向上活動の導入</li> <li>● 森林の利用による便益</li> <li>● 学校・婦人の巻き込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民の組織化</li> <li>● 森林官の育成</li> <li>● NPO・住民組織との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 収入創設活動を通じた住民へのメリット</li> <li>● 活動に参加・アクセスできる社会・環境の整備</li> </ul>
エチオピア	技術協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際認証によるコーヒーの付加価値化</li> <li>● FFS を通じた農業技術の習得や自信の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 森林管理と生計向上活動を通じたグループ組織の経験・強化</li> <li>● 行政官の能力強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個々の能力・意識</li> <li>● 住民組織力の強化</li> <li>● 協働による経験の蓄積</li> </ul>
オマーン	開発調査 技術協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 調査を通じたマングローブ利用状況の把握</li> <li>● 住民参加による保全活動プログラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 啓蒙活動や環境教育に必要な体制整備、スタッフの能力強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人材育成の拠点づくり</li> <li>● 人々の意識変化につながる機会づくり</li> </ul>
マリ	NGO	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分で育てた苗木を利用・販売</li> <li>● 有用な果樹・苗木の提供</li> <li>● 果樹の加工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● やる気のある村人への研修、情報交換できる体制</li> <li>● 失敗を重ねながらの学び</li> <li>● 住民が活用できる適正技術による見本林</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 30年にわたる里山再生活動の継続</li> <li>● 収入と結びつく循環の形成・育成（野菜加工、複合栽培等）</li> </ul>